

平成 19 年度 第 4 回常任委員会 議事録

日 時：平成 19 年 11 月 21 日（水） 14:00～17:35

場 所：土木学会 A・B 会議室

出席者：宮川委員長，石橋，井上，入矢，上田，魚本，宇治，梅原（代理：河井），岡澤，金津，河野，黒田，坂井，佐藤（勉），佐藤（良）島，鈴木，武若，堤（代理：出越），手塚，富田（代理：山田），中村，橋本，前川，松岡，丸山，睦好，六郷，渡辺の各常任委員，横田幹事長，岸・佐藤（靖）・信田・服部の各幹事，金子（オブザーバー），松沼（事務局）

配布資料：

- 4-0 : 平成 19 年度 第 4 回常任委員会 議事次第
- 4-1 : 平成 19 年度 第 1 回コンクリート委員会・第 3 回常任委員会 議事録（案）
- 4-2-1 : 関係機関への意見紹介 ー回答状況（2007.11.16 現在）
- 4-2-2 : コンクリートライブラリー「2007 年版コンクリート標準示方書改訂資料」構成（案）
- 4-2-3 : コンクリート標準示方書の適用について
- 4-2-4 : 収縮ひずみに関する対応（案）
- 4-2-5 : 前回（9/11）からの示方書設計編（構成等）主な変更点
- 4-2-6 : コンクリート標準示方書〔設計編〕意見照会結果と対応（第 3 回）
- 4-2-7 : コンクリート標準示方書〔設計編〕意見照会結果と対応（関係機関）
- 4-2-8 : コンクリート標準示方書設計編意見照会結果と対応（鉄道運輸機構）
- 4-2-9 : 特殊コンクリート指摘事項対応表（その 1）
- 4-2-10 : 特殊コンクリート指摘事項対応表（その 2）
- 4-2-11 : 維持管理編目次対応表
- 4-2-12 : 維持管理編改訂内容
- 4-2-13 : 意見照会結果と対応〔ダムコンクリート編〕
- 4-3 : 平成 19 年度コンクリート委員会一般会計予算案
- 4-4 : コンクリート標準示方書改訂小委員会ダム部会委員構成（変更）
- 4-5 : 平成 18 年度調査研究委員会の活動度評価の結果について（報告）
- 4-6 : 平成 20 年度事業計画及び予算概要調書
- 4-7 : 平成 19（2007）年度目標/計画（アクションプラン）と実施状況・今後の課題
- 4-8 : ジョイントセミナー助成申請の募集
- 4-9 : 非会員委員の土木学会入会へのご協力に対するお願い
- 4-10 : コンクリート委員会英文出版物売り上げ・収支概要
- 4-11 : 平成 20 年度全国大会共通セッションテーマの募集
- 4-12-1 : 緊縮財政への調査研究部門の対応 ～議論のためのたたき台～

- 4-12-2 : 緊縮財政下における調査研究部門の活性化へ向けて (委員会コメント※)
- 4-13 : 委員会活動支援ツールの導入検討状況について
- 4-14 : 平成 20 年度重点研究課題助成の募集について
- 4-15-1 : 混和材料を使用したコンクリートの物性変化と性能評価研究小委員会 (第 2 期)
- 4-15-2 : コンクリート構造物の信頼性設計法に関する研究小委員会名簿
- 4-15-3 : コンクリートの非破壊評価技術の信頼性向上に関する研究小委員会委員構成
- 4-16 : 若手/中堅技術者のためのコンクリート技術講習会
- 4-17 : 8th International Symposium on Utilization of High-Strength and High-Performance Concrete
- 4-18 : 第 51 回日本学術会議材料工学連合講演会 土木学会コンクリート委員会オーガナイズドセッション「市民にとって良いインフラとそれを支える技術システム」
- 4-19 : The 3rd ACF International Conference ACF/VCA-2008
- 4-20 : ICDCS 2008, International Conference on Durability of Concrete Structures
- 4-21 : The 2nd International Workshop on Life Cycle Management of Coastal Concrete Structures

議事 :

1. 委員長挨拶 :

宮川委員長より、今日の議事を中心は示方書の審議であり、時間的な制約も厳しいが、きっちりと議論して良いものを出版したいとの挨拶があった。

2. 前回議事録の確認【資料 4-1】:

岸幹事より、前回の議事録(案)が説明された。

- ・ 「5. 報告事項」を「4. 報告事項」に、「6. 次回幹事会及び常任委員会」を「5. 次回幹事会及び常任委員会」に修正する。
- ・ その他、修正すべき箇所があれば各委員は岸幹事に連絡することとした。

3. 審議事項 :

(1)コンクリート標準示方書の改訂

(1-1)改訂作業状況【資料 4-2-1, 4-2-2】:

信田幹事(改訂小委員会幹事)より、示方書改訂作業状況の説明があった。説明・議論の要点を以下に示す。

- ・ 38 の機関に意見照会を依頼した。現時点で 18 の機関から回答があった。締切りは過ぎているが、この先寄せられるコメントに対してもできる限り対応する。
- ・ 各部会で修正作業を続け、改訂小委員会主査幹事会による詳細審議(12/26 から 12/28)を経て、1/21 までにコンクリートライブラリ「改訂資料」も併せて仕上げる。コンクリ

ート委員会幹事会による読み合わせを 1/22 から 1/24 に行い, 1/25 の常任委員会において「改訂最終案」と「改訂資料」を付議する. 1/31 に脱稿する.

- ・ 講習会は東京が 3/27 と 3/28 の 2 日間, 大阪が 4/17 と 4/18 の 2 日間である. なお, 大阪での開催日が前回の常任委員会での案内と異なるが, これは会場手配の都合による.
- ・ 参加費は現時点で未定である. 「若手/中堅技術者のためのコンクリート技術講習会」同様, 吉田賞選考委員会と連携し参加費を決定することも考えられる. 参加費の設定は, 吉田賞選考委員会と示方書改訂小委員会および常任委員会委員長に委ねる.
- ・ 講習会に舗装編を組み入れていない. このことは, 舗装委員会も了承している.
- ・ ライブラリには, 各編の改訂点と課題, そして, 塩害に関する検討ワーキングでの検討結果を記述する. 資料 4-2-2 に示す目次は第一次案であり変更の可能性がある.
- ・ 前回の扱いを踏襲し, 本部の講習会開催会告には支部での開催予定があることを書き入れる.
- ・ 各支部においては, 示方書講習会の積極的な開催に努める.

(1-2)コンクリート標準示方書の適用【資料 4-2-3】:

信田幹事(改訂小委員会幹事)より, 各編の冒頭に記述される「1.コンクリート標準示方書の体系に関する基本的考え方」, 「2.責任技術者の役割と配置」, 「3.信頼性確保のための仕組み」について説明された. 説明・議論の要点を以下に示す.

- ・ 「1」では, 時系列の流れと示方書の流れが誤解されないように留意する.
- ・ 「2」では, 責任技術者の定義と配置の仕方を, 構造物の重要度の観点などを考慮に入れて見直す.
- ・ 信田幹事から原案を電子ファイルで各委員に送るので, 各委員は 2 週間程度以内にコメントする.

(1-3)収縮ひずみに対する対応【資料 4-2-4】:

河井氏(施工編幹事)と佐藤(勉)委員(設計編幹事)より, 設計編と施工編での結論として, 収縮ひずみは 800μ を基本とする方針であることが説明された. 1000μ 程度までの使用を許しても良いのではないかと, また, ひび割れ幅が大きく増加し耐久性の照査がかなり厳しくなるのではないかと等の指摘があり, 再度部会で議論することとなった.

(1-4)設計編の変更点【資料 4-2-5, 4-2-6, 4-2-7, 4-2-8】:

佐藤(勉)委員(設計編幹事)より説明された. 各委員からのコメントは特に出されなかった.

(1-5)施工編の改訂点【資料 4-2-9, 4-2-10】:

河野委員(施工編副主査)より説明された. 引き続き, コンクリート技士とコンクリート主任技師の施工編での位置づけ, 示方配合や現場配合といった用語の定義, について部会で議論することが確認された. なお, 用語の定義に関しては, 常任委員会全体でのメール審議を行うことになった.

(1-6)維持管理編の改訂点【資料 4-2-11, 4-2-12】:

武若委員（維持管理編主査）及び金子氏（維持管理編幹事）より説明された。維持管理計画の位置づけ（重要性）を再度確認し、章に引き上げるべきか否かを検討すること、また、予防保全に関しては、機関によって考え方が違うので土木学会としての考えを明確にすることが依頼された。

(1-7)ダム編の改訂点【資料 4-2-13】：

宇治委員（ダムコンクリート編主査）より説明された。本編における照査の原則について活発な議論があり、引き続き改訂小委員会において議論することとなった。

以上で示方書に関する審議は終了した。意見がある場合には、信田幹事（改訂小委員会幹事）へ送ることが確認された。

(2)コンクリート委員会予算の見直し【資料 4-3】：

横田幹事長より説明され、了承された。また、節約に努めてほしい旨依頼された。

(3)1種・2種小委員会委員追加・変更【資料 4-3】：

宮川委員長より説明され、了承された。

4. 報告事項

(1)平成 18 年度委員会活動度評価結果【資料 4-5】：

横田幹事長より説明された。

- ・ 過去 2 年間同様 A 評価であった。
- ・ A 評価の委員会が増えている。
- ・ C 評価が 3 年続くと取り潰しの対象となる可能性がある。

(2)平成 20 年度事業計画【資料 4-6】：

横田幹事長より説明された。

- ・ 小委員会のテーマを考える際の切る口として、土木学会のアクションプランも参考にしたい。
- ・ 来年以降の仕掛金に関しては、毎年均等に要求するのではなく、活動度に合わせて重みを付ける形で要求すべきとの指摘があり、今後はその方向で検討することになった。

(3)平成 19 年度自己評価【資料 4-7】：

横田幹事長より説明された。

(4)平成 20 年度国際セミナー助成【資料 4-8】：

中村委員より説明された。

- ・ スウェーデンとのセミナーを開催することになった。
- ・ 次回の韓国とのジョイントセミナーは、土木学会全国大会の時に開催される。ご協力いただきたい。

(5)非会員委員の土木学会入会への協力依頼【資料 4-9】：

横田幹事長より説明された。

(6)出版委員会報告【資料 4-10】:

岸幹事より説明された。

- ・ CLI の販売実績は良好であるが、他の出版物の販売実績は悪く、発行部数の見直しの必要性を出版委員会より指摘されている。なお、部数を半分にすると、単価が倍になると考えて良い。
- ・ 海外に行く際に、示方書英訳版を持っていく努力をするなどしないと世界に広まらない。提携しているところの学会の図書館などに寄贈するなど種々の方策を考えるべきである。
- ・ 普及させることを目的とするのであれば、無料でダウンロードできると良い。
- ・ ASCE のサイトの中で検索できるようにしてもらおう方法もある。
- ・ 今後も、示方書英訳版の販売部数の引き上げおよび販売方法に関する議論を継続的に行う。

(7)年次大会共通セッションへの応募【資料 4-11】:

横田幹事長より説明された。

- ・ 何か考えがあればご提案いただきたい。

(8)緊縮財政への調査研究部門の対応についての意見・提案【資料 4-12】:

横田幹事長より説明された。

- ・ 緊縮財政への調査研究部門の対応が、調査研究部門主査理事と研究企画委員会委員長より提案され、その提案に対する意見を求められたので、幹事団で作成し回答した。
- ・ 出版の売り上げの全額を委員会収入にすべきとの発言は慎重にした方が良い。

(9)委員会活動支援ツールのモニター委員会の募集【資料 4-13】:

横田幹事長より説明された。

- ・ 関係する小委員会や3種委員会で活用してみたいという希望があれば信田幹事か松沼担当事務局へ連絡する。

(10)平成 20 年度重点研究課題助成の募集【資料 4-14】:

横田幹事長より説明された。

- ・ 是非ご提案いただきたい。複数の提案があれば、幹事団で調整する。

(11)高機能 PC 鋼材に関する新規委託について

信田幹事より説明された。

- ・ PC 鋼材の複数のメーカーからエポキシ塗装 PC 鋼材に関する設計・施工指針を作成してほしいとの依頼があり、現在、幹事会において委託を受けるに値するものか検討している。

(12)第 3 種小委員会委員の追加・交代

岸幹事より説明された。

- ・ 混和材料を使用したコンクリートの物性変化と性能評価研究小委員会【資料 4-15-1】
- ・ コンクリート構造物の信頼性設計法に関する研究小委員会【資料 4-15-2】

- ・ コンクリートの非破壊評価技術の信頼性向上に関する研究小委員会【資料 4-15-3】

(13) 講習会・シンポジウム等開催報告

- ・ 岸幹事より、若手/中堅実務者のためのコンクリート技術講習会の開催が紹介された【資料 4-16】
- ・ 信田幹事より、高強度コンクリート国際会議への積極的な論文投稿が呼び掛けられた【資料 4-17】.
- ・ 服部幹事より、材料工学連合講演会への積極的な参加が呼び掛けられた【資料 4-18】.
- ・ 魚本委員より、2008年のACFの会議への積極的な論文投稿が呼び掛けられた【資料4-19】. また、ACFへの会員登録も依頼された.
- ・ 上田委員より、ICDCS2008への積極的な論文投稿が呼び掛けられた【資料 4-20】. アブスタの締切りが12月末まで延期されている.
- ・ 横田幹事長より、ICDCS2008に引き続き行われる塩害に限定したWSへの積極的な参加が呼び掛けられた【資料 4-21】.

5. その他

宮川委員長より、土木学会 功績賞と田中賞の推薦依頼が届いているので、推薦希望があれば幹事会へ連絡してほしいことが依頼された.

6. 次期幹事会及び常任委員会

- ・ 次回幹事会（議題案件資料の提出）：2008年1月9日（水）
- ・ 次回常任委員会：2008年1月25日（金）

以上